

## 【自分を大切にすることで】

年末の朝会で、子どもたちに、「今年1年を振り返ることは大切です。そこで、皆さん一人ひとりが、自分ができるようになったこと、がんばったことはどんなことかを中心に1年間を振り返ってほしい。」と話しました。とくでできなかったこと、不十分だったことを考えてしまいがちな振り返りですが、そうではない振り返りの方がその後の生活の励みになると考えるからです。また、このような考え方は、「自分が自分を大切にする」ということにも通じるのではないかと考えます。自分を大切にすることができることで心のゆとりができ、まわりの人への接し方においても「大切にする心」を持つことができるのではないのでしょうか。

新年は、子どもたちが「自分で自分のことを大切にすること」ができるようになってきている状態でスタートすることができれば、そう遠くない段階で今よりもっと素晴らしい学校になるのではないかと考えているところです。

同時に、私たちも気をつけなければならないことがあります。それは、子どものできないこと、不十分なことだけを指摘していないかということ、一人ひとりの子どもに、好きなことや興味があることがいくつかあってもそれ以上に問題であると思われることが見つかり、そちらのことばかりが気になってしまいがちです。子どもの見方の一つの方法として、「できない子」という言い方よりも「はできる子」と言ってあげることができれば、そう遠くない段階で今よりもっと素晴らしい学校になるのではないかと考えているところです。

## 【講演会】

先日今年度の講演会についてお知らせいたしました。この講演会の企画は私の苦手とするものの一つであり、毎年決定までは随分と時間を要してしまいます。皆様にはお知らせがいつも遅くなってしまいご迷惑をおかけしてしまいますが、どうかお許しください。

さて、講演会のお知らせのプリントにも書きましたが、今回は平成16年にも講演をいただいた新倉アキ子先生に再び講演をお願いいたしました。不登校の子どもたちやいろいろな心の悩みを持つ子どもたち、さらにはそういう子どもたちを支える保護者のことが話題として出てくると思いますが、その中には、今特に問題が見当たらないという保護者の皆さんにも、子どもとの関わり方の面で示唆に富むお話をさせていただけるものと思います。是非多くの保護者の方々にご参会いただきますようお願いいたします。

## 【小中一貫・小中連携】

このところ新聞紙上で、横浜市の小中一貫、川崎市の小中連携という新たな取り組みが紹介されています。同時に、中高一貫校も作られ始めています。教育体制に確実に変化が起きようとしていることについては、私たちも無関心ではられません。小中の連携では、英語教育を始めとする学習面での工夫やクラブ活動の充実、教員の交流を図りながらいわゆる「中1ギャップ」と言われる問題にも対応することなどをその目的としているのでしょうか。桐光学園小学校では、小中高一貫と銘打ってはいますが、教育課程などでの連携はありません。「建学の精神」に基づき、それぞれの学校で児童、生徒に対してよりよい教育活動を行うことを大切にしています。しかし、今のままでよいということではありません。中学校に進学した子どもたちが、様々な問題や課題に直面したときに、それを乗り越えていくための力の基礎になるものは小学校でしっかりと身につけていかなければなりません。

## 【個人面談で】

先週1～5年生の個人面談が行われました。面談を担当した教員から、何件かの報告がありました。問題点と学校側の課題と思われるものもあり、私としても考えさせられることがありました。

子どもが学校生活を楽しんでいるようにするためには、何よりも友だちとの関わりが大切です。休み時間の過ごし方や、登下校の様子を見ていて、友だち関係について心配だなと思うことがありますが、いつもそうではないと聞くと、本人がどの程度深刻に考えているかということまでは気配りできないまま、気がつく長い時間を経過していることがあります。まだまだ私たちの気づきが不足していることを反省させられました。

学校からの情報提供についてのご意見もあつたと聞きました。事件、事故の情報については、学校に入ってくるものは神奈川県警からの情報がほとんどで、以前このたよりでもお知らせしましたように、保護者の皆さんが個々の携帯メールでその情報を受け取ることができるようになりましたので、私の方から古くなった情報を含めてプリントでお知らせすることはなくなりました。しかし、保護者の皆さんがお知りになりたい情報というのは、事件事故の情報だけではなく、例えば学校で今行われていること、または、インフルエンザや風邪などの児童の健康に直結するような情報であることも分かりました。こういうことについては、今後その必要性をよく考えながらお知らせしていきたいと思えます。

その他にも、参考になるご意見をいただいたことに感謝申し上げます。